

○18番 池田眞紀子君

仲津中学校3年、池田眞紀子です。本日は2つの項目についてお聞きしたいと思いますので、御答弁をよろしくお願いいたします。

まず1つ目の質問、体育館の空調についてです。近年の夏は、30度以上あるのが当たり前になっており、暑い中で運動して熱中症になってしまう人や、全校集会で気分が悪くなっている人がいます。また、体育館は避難所として使われているので、もし体育館に避難したときに、高齢者や幼児が熱中症になってしまうと危険だと思います。

そのため、まずは小・中学校の体育館へ空調を整備する優先順位を上げてほしいと考えますが、どのように進めていくのか、今後の計画を教えてください。

○前半議長 渕上愛衣君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

池田議員のご質問にお答えします。小・中学校体育館への空調整備につきましては、これまでも多くの方からご要望をいただいていたのですが、近年の夏の猛暑の状況から、皆さんが学校で安心して学べるための環境整備、また、能登半島地震のような災害時の避難所としての機能強化を図ることを目的として、市内の全小・中学校の体育館に空調を整備することになりました。

ご質問の現在の計画の進捗状況ですが、今年度、令和7年度に未整備の学校体育館、残り15校ありますが、その体育館へ空調を設置するための設計書を作ります。その後の令和8年から10年度で毎年5校ずつ整備を行い、3年間で市内の全小・中学校の体育館への空調整備を完了する計画としております。以上であります。

○前半議長 渕上愛衣君

池田議員。

○18番 池田眞紀子君

ありがとうございました。それでは、全ての整備が終了するまでの対策として、整備が完了した学校のスポットクーラーや扇風機を未整備の学校で使用するといった仕組みをつくったらどうかと思いますが、いかがでしょうか。

○前半議長 渕上愛衣君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

大変良いアイデアを、ありがとうございます。池田議員がおっしゃったように、空調整備が完了した学校の使用しなくなったスポットクーラーや扇風機、大型送風機につい

ては、空調がついていない、未整備の学校体育館に持って行って、熱中症の未然防止のために、ぜひ活用していきたいと考えております。以上であります。

○前半議長 渕上愛衣君

池田議員。

○18番 池田眞紀子君

ありがとうございました。次の質問に移ります。

続きまして、給食の地元産品の活用について、質問します。最近、よくニュースでコメの値段について報道されておりますが、それと併せて農業者の高齢化や後継者不足について耳にする機会があり、後継者を増やすためにはどうすればよいか、自分なりに考えてみました。

1つ目が給食に地元で生産された食品を活用することです。食材として、地元の農産物を出荷することで、農家が安定した収入を得ることができるようになり、農業を始めようとする人も増えるのではないかと思います。いかがでしょうか。

○前半議長 渕上愛衣君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

池田議員のご質問にお答えします。学校給食において地場産食材を使用し、生きた教材として活用することは、それらの生産等に関わる方々の努力や苦労を理解し、食への感謝の気持ちを育む上で大切であると考えております。

本市の学校給食で使用しているお米は、100パーセント行橋産米です。地場産野菜の導入状況につきましては、直近3年間の京築地域の地場産平均使用率は約3パーセントで、安定した収量や、ある程度均一な規格の確保が課題となっております。使用拡大に結びついていない状況であります。

これまで、学校給食の食材として、キャベツ、葉ねぎ、ゆでたけのこ、小松菜など、地場産の野菜を使用していますが、規格が小さい物や形が不揃いであっても、一次加工され給食に使用できるものなどについて、地元JA、農業協同組合とさらに連携を深め、少しでも多くの地場産の野菜などを学校給食の食材として使用することで、地場産食材の普及や活用、販路づくりにつなげられるよう、努めてまいりたいと考えております。以上であります。

○前半議長 渕上愛衣君

池田議員。

○18番 池田眞紀子君

どれくらい給食で地元産品が使われているか、分かりました。ありがとうございました。

た。

2つ目に、イチジクやモモ、ブドウなどの特産品について、特産展への出展やSNSの利用、イベント開催などで知ってもらうことも重要であると思いますが、考えをお聞かせください。

○前半議長 渕上愛衣君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

この件でお答えする前に、1点ですね、ちょっとエアコンについてなんですけれども、行橋市内17小・中学校があります。その内のいま現在、1校のみ体育館にエアコンが設置されています。つまり残り16校、まだ設置されておりません。今年度中にもう1校設置する予定です。それが完了したら来年度以降ですね、残り15校に取り組んでいくということですね。ちょっと正確に数字を申し上げておきました。

それでは、いまご質問いただきました特産物についてでございますが、まず、イベントなどでは、これまでも既にPRはさせていただいております。例えば、行橋市には産業祭といったものがございますが、JA・農協さん、あるいは一次産品、野菜ではありませんけれども、例えば海のカキとかですね、そういったものを振る舞ったりしていただいております。

それからJAの販売所である京築恵みの郷ゆくはし店などでもJAの新田原果樹部会という果物を作られているチームがあるのですが、そういったところが実際に販売イベント等をされております。

それから、若手の農家さんたちですね、ご自身でも結構PRをされている方もいらっしゃいまして、SNSなどでPRされておりますので、こういったところは我々もさらに連携をして、PRのお手伝いなどもできるのではないかと考えております。

それからもう1点ですね、これはちょっと分かりやすく、議長、ちょっと見えるように市報を提示させていただきたいと思うのですが、(市報の提示あり)市報でもですね、これまで何度も農業にまつわる情報を発信してきました。

例えば、これは7月の市報ですね、表紙がトマトなんですけれども、トマトを扱っている農家さんを実際に取り上げております。また昨年12月には、レンコンを行橋で作られている方がいますので、これもPRをさせていただいております。ぜひご覧いただければと思っております。

今後も農家のPRにつながる方法を検討して、我々も精いっぱい取り組んでまいりたいと思いますので、ぜひ議員からも、何かあれば情報を提供していただきたいと思います。以上でございます。

○前半議長 渕上愛衣君

池田議員。

○18番 池田真紀子君

詳しく答えていただき、ありがとうございました。

以上で質問を終わります。ありがとうございました。